


社協 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

令和5年9月15日 No.80

編集・発行

 那加三地区
社会福祉協議会



近隣ケアグループ活動の飛躍をめざして

① 代表者懇談会 (5/9) 出席者38名

那加三地区 27 の近隣ケアグループ代表者が一堂に会して、より良い活動をするため、下記の情報交流等を行いました。

- ①自己紹介 ②代表者・グループ員の選出方法
- ③選出にかかわる問題点 ④グループ代表者と自治会との連動状況
- ⑤ケア活動の状況やグループ員との情報交換等について

近隣ケア活動は、高齢化社会における自助・共助に重要な役割を担うこととなります。ボランティア活動での介入には限界があり、自治会長や民生・児童委員との情報交流をし、一体となって活動していくことが大切であるとの認識をしました。



② 第一回研修会 (6/14) 出席者78名

近隣ケアグループ員、自治会長、民生・児童委員の皆様の出席を得て開催しました。まず、市社会福祉協議会の細野誠主任主事より、社会福祉協議会および近隣ケアグループの活動について、その関わりや役割を具体例を挙げながらお話をいただきました。近隣ケアグループの役割は、地域に住む高齢者・障がい者・子ども等を、①見守り②声かけ③知らせる④つなげることです。「見まもり・声かけ」等を通じ異変に気づき、支援や状況を地域（自治会・社協等）へつなげることが大切です。

年々高まる高齢化の中で、近隣ケアグループの役割は、ますます大切になっていることを再認識しました。

地域包括支援センターの伊藤美由起主事からは、高齢者やその家族の皆さんが抱える悩み・心配事等お困り事があれば、「お気軽にご相談ください」とお話がありました。



各務原市地域包括支援センター 社会福祉協議会

〒504-0912 各務原市那加桜町 2 丁目 163 番地
TEL058-383-7624 FAX058-382-3233

近隣ケアグループ研修会アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。一部抜粋させていただきました。

◇近隣ケアグループ活動年数 (回答者 76名)

年数	1年目	2～5年目	6～10年目	無記載	計
活動経験(名)	15	10	5	36	66
構成比 (%)	23	15	7	55	100

◇那加三地区社協の活動について

	1年目	2～5年目	6～10年目	無記載	計	構成比(%)
あまりわからない(名)	6	1	0	6	13	20
ある程度知っている(名)	9	9	5	29	52	80
計	15	10	5	35	65	100

◇近隣ケア研修会に参加して感じたこと

- ・丁寧に説明されたので解りやすかったです。
- ・社協の存在を初めて知りました。
- ・何気ない声掛けが近隣ケアにつながると思った。
- ・周りの方々と交流を持ち、色々な事の変化に気付ける様になりたいと感じた。
- ・初めて近隣ケアグループの代表になったのですが、活動することの意味がわかって良かったです。
- ・見守り・巡回・声かけが大事であることがわかった。



3 ご近所「畑」事業の展開(5/9～)

ご近所「畑」事業とは、プランターでの野菜づくりを通して、ご近所が自然とつながるキッカケをつくる、見守り事業です。今回も、プランターにミニトマトの苗を植え付け、近隣グループ員宅や見守り対象宅に設置していただきました。管理は皆さんで水やり等のお世話、成長し実りの時期を迎え、収穫したミニトマトのお裾分けをする等野菜づくりを通して顔の見える関係づくりを目指します。



ボランティアハウス懇談会 (5/23 出席者21名)

ボランティアハウス 6 グループの代表やスタッフによる懇談会が実施されました。①自己紹介②高齢者向けの体操③各ハウスの活動状況の発表④意見交換会を行いました。コロナ禍で各ハウスとも参加者の安心・安全を第一に活動の工夫をされていました。

暑中見舞いはがき ~心を込めて書きました~

今年も那加第三小学校の5年生(65名 内特支援1名)の皆さんが、114名のお年寄りに228枚の「暑中見舞いのはがき」を書いてくれました。



令和5年度 地域コミュニティ会議 (7/25 出席者32名)

地域福祉活動計画について市社協より説明が有り。出席者が4グループに分かれてワークショップの実施 ①地域の良いところ(取組み)、地域の困りごとについて考える ②困りごとを解決するために自分や地域で取組むことを考える、最後に会議のまとめとして、各グループの代表者が発表をおこないました。

